



ここにいるから

Vol. 18

発行 陸から
発行者

2022.12.1
天草漁協



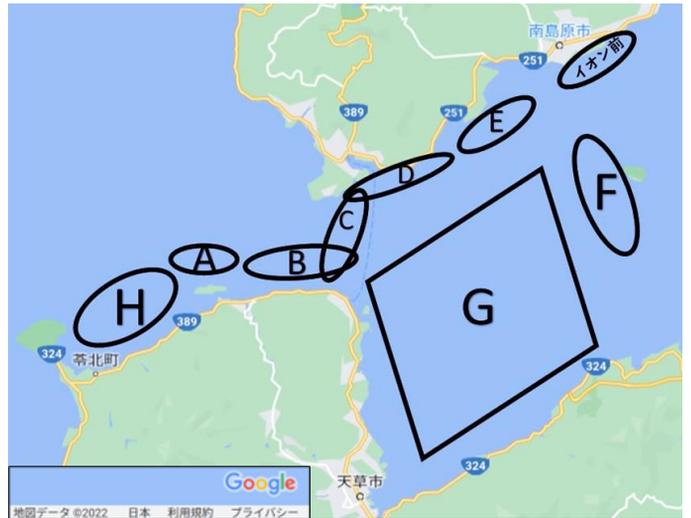
生態調査レポート 陸編

イルカ調査室では、令和4年度5月から生態調査を開始しました。調査は2パターン。この号では、陸からの調査についてお伝えします。

週に3回（月水金）朝8時、海沿いのいくつかのポイントから観察します。左の写真は、通詞島の高台にある歴史資料館前。晴天であれば（目が慣れると）、双眼鏡なしでもイルカたちが泳いでいるのが見えるポイントです。とくに春〜夏場の日中は、通詞島沖での滞在時間が長いことが体験的に知られています。そのため、調査は毎回、ここからスタートしています。

下図ではエリアAに該当このポイントは、視界が開けているため、通詞島沖のほぼ全景を臨むことができます。ここから見える小亀灯台や五通灯台は、イルカ調査の重要な目印となっています。

エリアマップ



右の図は、今年度の調査のために設定作成したエリア分けマップです。早崎瀬戸海峽に生息するイルカたちは、日中、主にこれらのエリア内で移動が確認されています。これ以外のエリアは、とてもまれ、あるいは、遠すぎて確認することができません。

エリアAが通詞島沖、エリアBが国道沿いで、陸調査のメインエリアです。この2つは、またさらに細かく場所の名称がついています。GやHは、沿岸に近ければ、陸からでも双眼鏡で見つけることができますが、なかなか難しいです。関係者は、目印や独特の名称を使い分けたり、GPS情報を使って、日々イルカの場所についての情報共有をしています。

天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業



やってるよ！

陸からイルカを見たいあなたへ

ぜひ**通詞島**（つうじしま）に行こう♪
天草空港から車で20分程度で絶景の島に到着。運が良ければ、肉眼でイルカを見ることが出来るよ。島内の歴史資料館や**ユメール**で双眼鏡の貸出しもあります。海を見てイルカウォッチング船がいれば、そのすぐ周辺をチェック!!

ユメールには食堂やキャンプ場、お風呂もあります



2機の風車が目印の島だよ



Amakusa Iruka Lab SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ

天草イルカラボ
amakusa_dolphin